

せず、減算画像にそのずれが陽性像として示される場合がある。この現象の解明に関しては今後とも検討する所存である。

9. 原発性副甲状腺機能亢進症におけるサブトラクション・シンチグラフィの有用性

菊地 潤一 高梨 俊保 駒谷 昭夫
堤 玲子 (山形大・放)

副甲状腺腫の局在診断は、術前検査として重要であるにもかかわらず、必ずしも容易ではない。

今回われわれは、二核種を用いた subtraction 法を行い、その方法ならびに結果について報告した。

頸部伸展位の状態で静脈を確保し、 $^{201}\text{Tl}-\text{Cl}$ 2 mCi 静注直後より、1 frame/30 sec で10分間にわたり、データをコンピュータに収集した。引き続き、 $^{99\text{m}}\text{TcO}_4^-$ 2~4 mCi を静注し、同様な方法でデータを収集した。Tl image では、6 frame 目から 20 frame 目まで加算し、Tc image では、11 frame 目から Tl image とほぼ同 count に達するまで加算した。その後、Tl image より Tc image を減算し、subtraction image を得た。

Subtraction image で陽性所見を示した15例中、8例に手術が行われた。全例で本法による局在診断と、手術で確認された腫瘍の部位が一致した。Histology はすべて chief cell adenoma で、摘出標本の最小径は 10 mm であった。

10. 副甲状腺腫瘍のシンチグラム

杉江 広紀 早坂 和正 荒川 圭二
天羽 一夫 (旭川医大・放)

原発性副甲状腺機能亢進症の4症例5腺腫に Tl シンチグラフィを中心に各種シンチグラフィを施行した。臨床病型では骨型1例、結石型2例、不顕型1例であった。腫瘍径と Tl の集積の有無では 1 cm 以上の4腺腫全例陽性となった。これより Tl シンチグラムの有用性が確認された。また甲状腺の機能性結節を合併していた1例がありシンチグラフィの読影に慎重を要し、サブストラクション法に加え Tl 以外のいくつかの核種を用いてスキャンすることの必要性を感じた。

11. Warthin's tumor と唾液腺シンチグラフィ

清野 康夫 村上 優子 高橋 栄治
斎藤 裕 小林 満 加藤 敏郎
(秋田大・放)
戸川 清 (同・耳)

1977 年から 1983 年の間に施行した唾液腺シンチグラム 83 例中 4 例の Warthin 腫瘍を経験した。耳下腺腫瘍 67 例の 4 例、約 6% に当たる。そのシンチグラム所見は、2 例が局所的集積亢進、1 例では集積の低下を認め他の 1 例は左右差がなかった。一方耳下腺への集積亢進を示した 3 例のうち 2 例が Warthin 腫瘍であった。他の 1 例は炎症であった。以上から Warthin 腫瘍のシンチグラム所見としては、必しも集積亢進を示すとは限らないが、シンチグラム上集積亢進を認めた場合は、特にそれが腫瘍に一致して限局性であれば Warthin 腫瘍の可能性が高いといえる。

12. ポジトロンガスによる局所肺機能検査

——定量的評価を中心に——

古舘 正從 伊藤 和夫 入江 五朗
(北大・放)
浅沼 義英 (同・登別分院)
伊藤 英樹 松田 幹人 西村 昭男
(日鋼記念病院)
鈴川 一郎 山田 輝男
(日鋼加速器グループ)

ポジトロンガスの局所肺機能に対する有用性を評価するため、ポジトロン標識ガスである $^{11}\text{CO}_2$ 、 ^{11}CO および $^{13}\text{N}_2$ を用い、定量的評価により、 ^{11}CO による肺拡散能、 $^{13}\text{N}_2$ を中心とした肺換気機能、さらに上下肺野比等について検討した。肺野の関心領域設定については、 ^{11}CO や $^{11}\text{CO}_2$ の場合には心大血管像を除外するような設定が必要であった。慢性閉塞性肺疾患では DLco/VA は正常で、% FEV_{1.0}、 $^{13}\text{N}_2$ の clearance rate (以下 CR と略す)、 ^{11}CO の CR、 $^{11}\text{CO}_2$ の CR は低値を示し、肺線維症では、% FEV_{1.0}、 $^{13}\text{N}_2$ の CR、 $^{11}\text{CO}_2$ の CR は正常であるが、DLco/VA と ^{11}CO の CR とが低値を示した。上下肺野比の検討では、肺線維症では正常者に比較し、ほぼ類似した傾向がみられたが、慢性閉塞性肺疾患では高値を示すものが多く、大きなバラツキもみられ、